

## 令和5年度事務事業評価の実施結果について

### 1 事務事業評価の目的

市が行う事務事業評価は、効率的な行政運営と市民ニーズに対応したサービスの提供とともに、行政の透明性を確保し、開かれた市政を推進することを目的に実施する。

### 2 事務事業評価の概要

#### (1) 評価の実施（評価責任者：課長）

今年度は、事務事業評価の結果を市民に分かりやすく伝えることを意図し、実施計画書に掲載する主要な事業（231事業）から設備の維持補修など定例の事業等を除く事務事業（170事業）を対象に精査するとともに、公表様式を見直した。そのうえで、事業ごとに設定した活動指標や成果指標の達成度等を分析し、妥当性、有効性及び効率性の視点を加味して総合的に評価を実施した。

#### (2) 評価結果の公表

評価結果は、ホームページに掲載するとともに市内の公共施設において公開する。また、昨年度と同様、評価結果に対して市民からの意見を受け付ける。

### 3 評価結果の活用

評価結果については、業務改善及び次年度以降の事業展開、新規事業の立案に活用する。

令和5年度事務事業評価（令和4年度実施事業） 実施結果一覧

事業の方向性	評価基準	事業数	構成比率
拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のニーズや社会情勢から、事業を拡大していくことが適当と判断される事業</li> <li>・費用をかければ成果の向上が認められる事業</li> <li>・対象を拡大すれば、成果の向上が認められる事業</li> </ul>	27	15.9%
維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的を達成するためには、現状どおりの事業手段で維持することが適当と判断される事業</li> </ul>	130	76.5%
縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用負担を軽減しても成果及び市民サービスの低下をもたらさないと認められる事業</li> <li>・対象が過大であると認められる事業</li> <li>・対象の状況変化や厳しい財政状況から事業規模の縮小がやむを得ないと判断される事業</li> </ul>	4	2.3%
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の対象や手段、意図を見直すことにより、成果が向上すると判断される事業</li> <li>・受益者負担の適正化により、経費の削減が見込める事業</li> </ul>	2	1.2%
統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業と対象、手段、意図が類似し、統合することにより経費の節減や効率化が図られる事業</li> </ul>	1	0.6%
廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の実施（関与）の妥当性が認められない、又は実施（関与）の必要性が低い事業</li> <li>・目的の妥当性が認められない、又は目的の必要性が低い事業</li> <li>・成果が認められない事業</li> <li>・廃止により市民サービスの低下をもたらさないと認められる事業</li> <li>・新たに創設された制度などにより、必要性が低下したと認められる事業</li> </ul>	0	0%
休止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果や財政状況等により、一時的に休止がやむを得ないと判断される事業</li> </ul>	0	0%
完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を達成した事業</li> <li>・評価年度で終了する事業</li> </ul>	6	3.5%
計		170	100.0%

加古川市事務事業評価シート<令和4年度実施事業>

事務事業名	地方創生まち・ひと・しごと創生総合戦略管理事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

事業開始年度	完了(予定)年度	事業区分	事務事業に関連の深いSDGs	
2016年度	2026年度	⑥市施策事業(臨時)		
総合計画	基本目標	_06まちづくりの進め方	政策	_01まちづくりの進め方
	施策	03効果的・効率的な行財政運営		

【事業概要】

対象 (誰、何に対して)	市民、加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員、加古川市まち・ひと・しごと創生本部員	33 ( R5.4.1時点 )	人
目的 (対象をどのような状態にしたいのか)	人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある地方創生を推進するため、市民や有識者等からの幅広い意見を聴取し、取組への反映を図る。		
事業内容 (対象を目的の状態にするため、どんな業務・活動をしたか)	市長を本部長とし、副市長をはじめ各部局長を構成員とする加古川市まち・ひと・しごと創生本部や、外部有識者を構成員とする加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議において、本市における地方創生の取組を推進する。		

【コスト】

	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(決算見込)
事業費合計	251 千円	108 千円	132 千円
うち、一般財源	251 千円	108 千円	132 千円

【評価指標】

活動指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	目標値
まち・ひと・しごと創生戦略会議開催回数	回	4	1	1		
まち・ひと・しごと創生本部会議開催回数	回	4	1	1		
成果指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	目標値
総合戦略の基本目標における目標値の達成率	%	35.7	0	0	令和8年度	100

【昨年度の評価結果に基づく取組事項】

令和3年度評価結果及び取組コメント	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和4年度においては、令和3年度に引き続き、身近な自然を生かした魅力的な空間の創出に向け、加古川河川敷をメインエリアとしたにぎわいづくりなどに取り組んだ。また、本市の総合戦略に環境の視点を加え、社会環境の変化を捉えた戦略の見直しを行った。

【総合評価】

総合評価 ※事業の妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評	令和4年度においては、前年度に続いて総合戦略に関連する各施策に取り組んだほか、国が重点施策に掲げる「デジタル田園都市国家構想」を踏まえ、デジタル技術を活用した取組を積極的に推進することができた。 総合戦略の基本目標を達成し、未来への活力があふれるまちを実現するためには、引き続き、総合戦略の重点施策である「子育て施策のさらなる充実」「しごと(働く場)の創出」「地域活力のさらなる向上」に係る取組を推進することが必要である。
今後の展開	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了

事務事業名	地方創生まち・ひと・しごと創生総合戦略管理事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	06まちづくりの進め方
政策	01まちづくりの進め方
施策	03効果的・効率的な行財政運営
事業実施期間	平成28年度～令和8年度
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当市は都市圏を中心に転出超過の傾向が続いていることから、総合戦略に定める重点施策を中心に、移住・定住に向けた施策に取り組む必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある地方創生を推進するため、市民や有識者等からの幅広い意見を聴取し、取組への反映を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員、加古川市まち・ひと・しごと創生本部員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市長を本部長とし、副市長をはじめ各部局長を構成員とする加古川市まち・ひと・しごと創生本部や、外部有識者を構成員とする加古川市まち・ひと・しごと創生戦略会議において、本市における地方創生の取組の効果検証を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	108千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	108千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	055 地方創生まち・ひと・しごと創生事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	2,562千円	251千円	108千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和3年度においては、加古川河川敷をメインエリアとしたにぎわいづくりなどに取り組んだ。今後も引き続き、第2期総合戦略における重点施策である「子育て施策のさらなる充実」「しごと（働く場）の創出」「地域活力のさらなる向上」に係る取組を推進する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地方創生まち・ひと・しごと創生総合戦略管理事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
まち・ひと・しごと創生戦略会議委員数	人	14	13	13
まち・ひと・しごと創生本部員数	人	20	20	20

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
まち・ひと・しごと創生戦略会議開催回数	回	1	4	1
まち・ひと・しごと創生本部会議開催回数	回	0	4	1
活動指標分析結果	令和3年度は、まち・ひと・しごと創生戦略会議を1回開催し、本市における地方創生に係る施策の効果検証を行うとともに、「第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、国の方針を踏まえた今後の方向性について検討を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
総合戦略の基本目標における目標値の達成率	%	37.5	35.7	0	令和8年度	100
成果指標分析結果	総合戦略の基本目標における目標値の達成率については、5指標すべてが未達成であるが、令和2年度と比較するとすべて改善または向上の傾向にある。また、人口の社会動態について、特に若い世代の転出超過が続いていることから、総合戦略に基づく新たな施策展開を検討し、取り組んでいく必要がある。					